

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
高齢者看護学実習Ⅰ	前後期	3年	必修	3単位	135h
担当教員名	メールアドレス	オフィスアワー			
◎高齢者看護学領域教員		必要時メールで事前にアポイントを取ること			
授業の概要					
<p>介護老人福祉施設で療養している高齢者を対象に、介護予防や健康維持・増進を目的とした多職種による生活支援について学ぶ。また通所施設に通う高齢者及び家族に対する、施設の果たす役割と看護について理解を深める。さらに地域で生活する多様な健康段階にある高齢者を対象とした生きがい活動、健康増進、介護予防等の事業を通してそこにおける看護の役割を学ぶ。*この科目は看護師の実務経験のある教員による授業科目です。</p>					
キーワード	到達目標				
<p>地域で生活する高齢者 生きがい活動 健康増進 介護予防 施設入所高齢者 保健医療福祉(多職種)の連携 看護職の役割機能</p>	<p>本科目のカリキュラムポリシー上の位置づけは以下の通りである。 NN-DCP2-1-2、NN-DCP2-1-3、NN-DCP2-2-1、NN-DCP2-3-2 に該当する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域において活動する健康高齢者や軽度機能低下のある高齢者の身体的・心理的・社会的な特性を述べられる。 2. 高齢者の日常生活への適応及び自立を考慮した関わりができる。 3. 高齢者ケアにおける保健医療福祉チームの連携・協働の必要性が述べられる。 4. 保険医療福祉チームの一員として、看護職の役割機能が述べられる。 5. 高齢者の価値観、信念を尊重した態度で接することができる。 6. 実習を通して、自己洞察を深め、自己の課題を表現できる。 				
学習内容					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「高齢者看護学実習Ⅰ」では、①沼津市社会福祉協議会（以下、社協）と、寄り合い処かぬき「暖だん」で1単位（1週間）、②介護老人保健施設で2単位（2週間）を実施する。 2. 「高齢者看護学実習Ⅰ」の①では、社協の「千本プラザ」、「暖だん」での「高齢者の集い(サロンなど)」を通して、地域で活動する高齢者と交流し、健康の維持・増進、QOL向上を考える。また、社協の「ちよいてつサービス」を通して、高齢者が地域で生活することについて考える。 3. 「高齢者看護学実習Ⅰ」の②では、介護老人保健施設に入所している高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。高齢者の発達課題、家族の状況、疾病や老化が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、高齢者のQOL向上をめざした看護を実践する。また、高齢者の生活を支える看護職や他職種との連携の実際を知り、看護師の役割機能を考察する。 					
受講要件					
<p>「基礎看護学実習Ⅱ」+当該領域の「概論」・「援助論」を修得していること。 2年次後期までの学年進度とされているすべての必修科目の単位を修得していること。</p>					
レポート	その他			合計	
0%	100%			100%	
教員からのメッセージ					
<p>実習は全日程の出席を原則とし、実習 2/3 以上の出席をもって、評価対象となる。実習目的・実習目標の到達度及び態度を、評価表（100点）を用いての評価とする。 事前に高齢者看護学に関連した科目の復習をし、知識を得た上で実習に臨むこと。 遅刻の扱いについては、初回の授業にて説明する。</p>					